

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

| No.                      | タイトル            | 評価項目   | 自己評価   | 記述  | 運営推進会議で話しあった内容  | 外部評価   | 記述                            |
|--------------------------|-----------------|--|--|---|---|--|-------------------------------|
| <b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b> |                 |  |  |   |   |  |                               |
| 1                        | 理念の共有と実践        | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                           | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 事業所理念が「笑って泣いて人生つれもていこら」スタッフだけで何でもするのでなく、利用者を交えて共同生活をしているということをスタッフ間で共有し実践している。              |   |  |                               |
| 2                        | 事業所と地域とのつきあい    | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。     | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 散歩の際は近隣住民にあいさつしたり、地域の夏祭りに参加するなどしている。また地域の溝掃除にも参加し、つながりを大切にしている。                             | 利用者、職員全員が地域の一員であることを理解し、夏祭り等地域の方々とのつながりを大切にされている        |  |                               |
| 3                        | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。             | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 運営推進会議にて利用者やサービスの実際、取り組み状況等について報告や話し合いを行うことで実際のサービスの見直しを行えている。同時に事業所のサービス向上に活かしている。         | 毎回四季を感じられる行事など取り組み状況を詳細に報告され、参加者からの意見を事業所の改善につなげられている   |  |                               |
| 4                        | 市町村との連携         | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。               | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 運営推進会議にて支所長、地域包括支援センター職員に出席して頂いている。日頃のグループホーム内の取り組みを積極的に伝える事で様々な角度からの意見を頂いている。              | 地区の支所長、圏域の包括の職員が会議に参加しており、市町村からの情報や意見をもらい、サービス向上に役立っている |  |                               |
| 5                        | 身体拘束をしないケアの実践   | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 玄関の施錠はもとより、スピーチロックも含め開設当初より玄関もオープンにしている。外に出たがっている利用者に関しては逆にこちらから声掛けして少しの時間でも散歩できるように配慮している。 |   | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 報告を受けている通り、訪問する度に常に玄関は解放されている |
| 6                        | 虐待の防止の徹底        | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。      | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修に参加したり、月1回のスタッフ会議を通じて虐待防止に努めている。認知症の症状により困難なケースでは支援方法を検討し、チームで連携した支援を行うよう努めている。           |   | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修やスタッフ会議により、学ぶ機会を設けている       |

|    |                    |  |  |  |  |   |  |
|----|--------------------|--|--|--|--|---|--|
| 7  | 権利擁護に関する制度の理解と活用   | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。        | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修に参加した職員が事業所にて伝達研修を行い、周知している。   |  |   |  |
| 8  | 契約に関する説明と納得        | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                        | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 疑問点、不安材料が残らないように理解して頂き、契約後も不明な点があればいつでも連絡していただくようお願いしている。  |  |   |  |
| 9  | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                           | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 家族には面会に来ていただいたりする際に意見、要望を伺ったりはしている。利用者には具体的に訴えられない方もいるので、言葉、動作、表情で心境をくみ取るようにしている。                    | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 利用者・家族等より意見を頂き、運営に生かせる様、意見を聞き反映させている        |  |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映      | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                       | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 面談を開く機会を設け、職員の意見や提案を実践に活かしたり、問題点を共有したりしている。  |  |   |  |
| 11 | 就業環境の整備            | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 自己評価点検シートを利用して、各スタッフが目標をもち、仕事にやりがいや向上心をもって挑めるよう取り組みを行っている。また年に2回の面談を行う事で、各スタッフの思いを聞き取り職場環境の整備に努めている。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | フィードバック面談を実施しており、スタッフより意見、反省点など聞き取る機会を設けている |  |
| 12 | 職員を育てる取り組み         | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。       | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 法人内外への研修参加を促し、管理者は現場で個々の能力に応じた指導を行っている。  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修やOJTを実施することにより、スタッフの育成に努めている              |  |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上      | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修等で他事業所と交流し意見交換することで、自事業所のサービスの質を向上させる機会はあるがあまりできていない。  |  |   |  |

|                                     |                      |  |  |   |  |  |  |
|-------------------------------------|----------------------|--|--|---|--|--|--|
| 14                                  | 本人と共に過ごし<br>支えあう関係   | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                                      | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 掃除や洗濯物たたみ、食後の片づけなど、その方が出来る事は積極的に参加して頂き、ありがとうを言ったり言ってもらったりする関係を築いている。またそういう関係である事を常々スタッフに説明している。           |  |  |  |
| 15                                  | 馴染みの人や場との<br>関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                                     | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 和歌山市内をドライブしたりする事で、昔よく行き来した地名を思い出し、昔と今の違いに興味を持ってもらったりしている。また墓参りへの同行支援を行ったり、自宅への一時帰宅支援を行い関係性を継続できるように努めている。 | 全利用者ではないかもしれないが、個々の利用者の置かれている状況をアセスメントし、これまで大切にしてきた関係が途切れないよう取り組んでいる |  |  |
| <b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                      |  |  |   |  |  |  |
| 16                                  | 思いや意向の把握             | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。                                       | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 日常生活の中での言動や入居者間の会話など日々の記録に残したりスタッフ間で伝達することで共有するようにしている。意思表示が難しい方については表情や仕草などから推察するようにしている。                |  |  |  |
| 17                                  | チームでつくる介護計画とモニタリング   | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | スタッフ間だけの話だけでなく、本人さんの訴え、日常的な行動、家族さんの思いを基に今この方に必要なケアは何か、またそれはいつ、どのようにすれば具体的なものになるか、という話し合いをチームで行っている。       | 本人及び関係者と話し合いを密にして、日々の様子をもとに介護計画を作成しており、必要に応じた見直しが随時行っている             | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 今後もスタッフだけでなく、関係者等の様々な意見を反映させる体制を整え、最善の介護計画を作成することを望みます |
| 18                                  | 個別の記録と実践への反映         | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 個々にタイムリーに記録している。また一日を振り返り気づきのポイントを記録しているが、スタッフによって記録する能力に差異があり、情報の共有のため強化に取り組みたい。                         |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 日々、個人記録を記入し、今後の介護計画に活かされているように思います                     |
| 19                                  | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。                 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 家族の状況等、突発的なニーズにも可能な限り柔軟な支援を行うようにしている(告別式への参列や遠方の外出なども)  | 一人ひとりの「大切」を大切に、突発的におきたニーズにも柔軟に対応している                                 |  |  |

|    |                     |  |  |   |  |  |                                      |
|----|---------------------|--|--|---|--|--|--------------------------------------|
| 20 | 地域資源との協働            | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                                 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 地域資源としてあげられるものの中に地域住民とのふれあいがある。近所への散歩の際にあいさつを交わす程度の交流はある  | 入居者の状況や状態をアセスメントした上で、個々に応じた地域資源を活用し支援している                                  |  |                                      |
| 21 | かかりつけ医の受診支援         | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                                | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 近所のかかりつけ医が定期的に往診にきてくれている。利用者の事をよく把握してくれているので相談にもってもらいやすいため、とても心強い。  |  |  |                                      |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働       | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 入院時には必要に応じた援助を可能な範囲で行っている。また医療機関と情報交換しながらできるだけ早期退院できるよう、事業所内で行っている。   |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 他部署との連携、医療機関と密に連絡を取り支援を行っている         |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。         | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 重度化し終末期に向かっている対象者が居られ、主治医、家族、管理者でカンファレンスを行っている。その中で今後考えられる状態、そうなった時の方向性について話し合っている。継続的にその場を設け、家族の思いや不安などを聴き意思疎通を行っている。今年度は、実際に1名の看取りを行った。 |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 医療面、家族、本人の意向を聞き取り、チームで支援するよう取り組まれている |
| 24 | 急変や事故発生時の備え         | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 緊急時対応マニュアルを作成し全スタッフが対応できるよう備えているが実際の緊急時の判断や対応に不安を感じている。経験の浅いスタッフに指導したり訓練に力を入れていく必要がある。  |  |  |                                      |
| 25 | 災害対策                | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。                                     | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 水害などの災害なども視野に入れ、定期的に避難訓練を行っている。   | 災害に対する訓練は出来ているが、職員や利用者の入れ替わりもあるので、新しい事も取り入れながら、今後も定期的に行い、地域との協力体制を密に行ってほしい | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 地域、自治会と定期的に避難訓練を行っており、皆に周知している       |

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |                    |   |  |   |  |  |   |
|----|--------------------|---|--|---|--|--|---|
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 人間としての尊厳が守られるよう、また安心した生活を送ってもらうための声掛けや言葉遣いには気をつけるよう、日々のミーティングや会議、個別面談時に意識するよう取り組んでいる。         |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 研修や会議により本人を尊重し、権利擁護に努めている                           |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし       | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。    | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 提案はするが、一切強要はしない。気が向かない方に関しては今自分がしたい方を優先してもらっている。訴えが出来ない方に関しては表情、体調の具合にてスタッフが配慮している。           |  |  |   |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援     | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。                             | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 食事の準備、後片付けでは一人一人の出来ること、出来ないことをスタッフが十分把握した上で声掛けし、出来る範囲内の事を楽しみながら参加して頂いている。気が乗らない際は強要はしない。      |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 食事の準備、後片付けに支障のない方には、できる範囲で自発的に行っていることは素晴らしいことだと思います |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援       | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                               | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 個々にあわせ、食事量を調整している。水分に関してはおやつの時間などもうまく配慮し、楽しみながら水分摂取できるように心掛けている。嚥下困難の方にはその方にあったトロミ具合にて調整している。 |  |  |   |
| 30 | 口腔内の清潔保持           | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                                    | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 声掛けや直接的な支援を必要とされる方など、その方に応じた支援を行っている。義歯使用の方は毎夕食後預かり、洗浄を行っている。うがいの困難な方には緑茶を飲んで頂いている。           |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | しっかりと対応しているように見受けられます                               |
| 31 | 排泄の自立支援            | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 排泄表をもとに一人一人の排泄パターンをよみとり、個々に応じた排泄援助を行なっている。  |  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 適切に対応しているように思います                                    |

|    |                |  |   |  |  |   |                                     |
|----|----------------|--|---|--|--|---|-------------------------------------|
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。                                    | A. 十分にできている<br>Ⓑ ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 入居者の方がゆったりと気持ちよく入浴できるように支援している。週2～3回は入浴していただき、入居者の意向も汲みながら、その日の気分や体調によって個々の状況に応じて柔軟に対応している。  |  |   |                                     |
| 33 | 安眠や休息の支援       | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。  | Ⓐ 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 早めに就寝される方、夕食後はホールでテレビを楽しみたい方など一人一人の習慣の違いを尊重しながら室内温度、就寝時の衣類の調整なども含めて安眠できるように支援を行なっている。<br>日中もその方の身体状況や疲れなどに配慮し、ベッドで横になってもらうなどの対応を行っている。 |  |   |                                     |
| 34 | 服薬支援           | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。                                       | A. 十分にできている<br>Ⓑ ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 内服薬については一覧表を作成し個人記録ファイルに掲示している。常に確認できる状態にしておりある程度は頭に入っているが不明な点については一覧表で確認している。   |  | A. 十分にできている<br>Ⓑ ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 服薬の際、常に確認しているとのこと<br>で、評価できるものと思います |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援    | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。                                 | A. 十分にできている<br>Ⓑ ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 楽しみごとにも好き嫌いがあるため、画一的に全員が一つのことを強要するのではなく、一人一人が興味のあることに打ち込めるように配慮している。   | 入居者一人ひとりの嗜好や楽しみに応じて、柔軟に支援できている                         |   |                                     |
| 36 | 日常的な外出支援       | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | A. 十分にできている<br>Ⓑ ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 個人差はあるが、散歩やドライブ、外気浴など気楽に出掛けられるように日課設定している。   | 野外活動を日頃からしています。入居者にとって外出は良い刺激になると思うので、これからも日課設定にしていきたい |   |                                     |
| 37 | お金の所持や使うことの支援  | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。                                   | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>Ⓒ あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | お金を所持されている方が数名おられ、頻度は多くないものの、自身の衣類を購入するための買い物支援なども行っている。   |  |   |                                     |

|  |               |   |   |  |  |   |                                     |
|--|---------------|---|---|--|--|---|-------------------------------------|
| 38   | 電話や手紙の支援      | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。  | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. ③あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 一部の利用者の方は携帯電話や事業所の電話で連絡をとったり、タブレットでビデオ通話をされたりする機会がある。                                  |  |   |                                     |
| 39   | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 利用者にとって不快や混乱になるような刺激(音、光、色、広さ、温度)には配慮している。清潔で居心地の良い空間ではあると思うが、今後もっと季節感を採り入れていくべきだと感じる。 |  | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 利用者にとって心地よい空間を提供できるよう配慮されているように思います |
| <b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b> |               |   |   |  |  |   |                                     |
| 40   | 本人主体の暮らし      | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている。   | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 利用者個々の要望や意向に沿えるよう、できるだけ柔軟な支援を行っている。  |  |   |                                     |
| 41   |               | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている。   | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 個々の習慣や生活歴を大切に柔軟な支援をするよう努めている。  |  |   |                                     |
| 42   |               | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている。   | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 日々の生活の中で体調の変化に気づき、受診につなげたり、環境整備を行うことで、安心・安全に暮らせるよう支援している。                              |  | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 安心、安全に過ごせるよう配慮しているように見受けます          |
| 43   | 生活の継続性        | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている。  | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 一日の日課はある程度あるがその人のペースや習慣を大切に、幅を持たせた柔軟な支援を心掛けている。  |  |   |                                     |
| 44   |               | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている。   | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. ③あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 入居の際などになじみの物を持ってきてもらうよう声掛けし、持っている方もおられるが、必要最低限の物しかない方も多く、今後の課題である。                     |  | A. 十分にできている<br>B. ③ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 元々所有物が少ないとの事で難しい状況であると察します          |

|    |           |  |  |   |   |  |                                  |
|----|-----------|--|--|---|---|--|----------------------------------|
| 45 |           | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる。              | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 意向を伝えられる方についてはできるだけ希望に沿えるよう対応している。自ら伝えられない方にも促したり声掛けし、表情などからくみ取り、支援するようにしている。 | 本人の意向により催事に参加できるよう努められ、充実している                                 |  |                                  |
| 46 |           | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる。 | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 個々の能力をアセスメントし、それぞれに力を発揮してもらいながらサポートすることで役割を持っていたり、やりがいや生きがいにつながっている。          |   |  |                                  |
| 47 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる。             | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 上記同様、本人の能力を活用して活動することで、やりがいや生きがいとなるよう支援している。                                  |   | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 本人がいきいきと過ごせるよう出来る限り配慮しているように思います |
| 48 |           | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる。                        | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 散歩に出掛けたり、地域の夏祭りに参加する等、できるだけ地域と関わりを持つよう心掛けている                                  | 日常的に地域住民と交流することは難しいと思われるが、地域のイベントに参加したり、散歩に出掛けたりと努力されている      |  |                                  |
| 49 | 総合        | 本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる。      | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | グループホームで職員や他の入居者と共同生活を送ることで共に支え合い認知症による不安や混乱を軽減し、安心して生活できるよう支援している。           | スタッフが入居者の気持ちを考えて支援していることが、個々の利用者の表情を見れば十分感じられ、安心して生活している事がわかる | A. 十分にできている<br>B. ほぼできている<br>C. あまりできていない<br>D. ほとんどできていない | 本人が安心して暮らせるよう支援して下さい             |